

令和3年度第5回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和3年7月19日（月）午後3時25分～午後5時10分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 五十嵐 紀 子 学校教育課長 須 藤 友 章
委員 馬 場 千 晶 合宿の里・スポーツ推進課長
委員 加 藤 洋 之 坂 本 英 樹
社会教育課長 武 山 鉄 也

(欠席 委員 山 田 敦 久)

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

連日、体調を崩しかねない暑さが続いているが、一方では夏らしい暑さは必要とも思っている。北海道にも「緊急事態宣言」が発令されたが、各学校では無事に一学期を終えようとしており、明後日には終業式を迎える。社会教育課が開催する「チャレンジ寺子屋」については、募集開始からわずか2日で定員の30人に達してしまった。何とか定員枠を拡大するなど対応がとれないか検討したが、今回は難しい状況である。夏休みの事業として多くの期待が寄せられていると実感しているところでもあるが、今後の検討が必要。

中体連の地区大会・上川代表決定戦が開催され、子どもたちが精一杯、日頃の練習の成果を発揮した。陸上競技では、士中、南中、朝中から全道大会に出場するほか、柔道では上中3年の後藤田柊斗さん、卓球男子では士中2年の三和歩夢さん、同じく女子では南中2年の廣瀬濤さんが全道大会に進出した。本日の北都新聞には、名寄市教委が全道、全国大会に出場する小中学生に新型コロナウイルス抗原検査キットを配付するとの記事が掲載されており、すでに野球とトランポリンの選手が対象となっている。本市では希望する教職員にPCR検査を行っているが、ワクチンの接種が順調に進んだ場合は、PCR検査の実施回数を見直し、その分を「へき地小規模学校で教育実習を行う大学生」などの検査に充てたいと考えている。感染症対策としては、マスクの着用、密の回避、手指の洗浄・消毒を引き続き行うことが重要だが、特にマスクについては、通学時に着用していない高校生などが相当数見られる状況もある。午前中に開催した校長会議の場で改めて周知し、対応について工夫してもらうよう依頼したほか、文科省や道からは、長期休業期間中の家庭における感染防止について通知がされたところでもある。

いよいよ東京オリンピックが始まるが、選手村で感染者が発生したり、プレーブックが守られていないなどの問題が起きている。ドイツナショナルチームを受入れる本市でも、どうすれば「万全」にできるのか検討してきたが、できることを最大限やることに尽きると考えている。例えば選手等が旭川空港で手荷物を受け取る際には、他の乗客と完全に分けるよう専用の手荷物受取場を使用するなど、国が決めたルール以上に行うこととしているところであり、市民の皆さんにもご理解いただきたい。

児童・生徒に対するワクチン接種については、6月の段階で接種対象年齢が12歳以上に引き下げられ、本市では8月3日付で接種券が送付される予定であったが、更に前倒しされる見込みとなった。ワクチン接種はあくまでも任意であり、接種を望まない方や副反応が起きる恐れのある方が、偏見や誹謗・

中傷にさらされないよう配慮が必要である。特に問題ない方については、いつ接種できるかといった情報を提供し、接種していただくことになる。

児童・生徒の登下校中における安全対策の観点から、熊の目撃情報についてお知らせする。7月8日の夜に、上土別町の菊水橋において熊と自動車の接触事故が発生した。今年は札幌や旭川でも目撃情報や被害が多発しており、土別に居ても当たり前の状況である。保護者に対し送迎の協力を要請するなど周知しているが、引き続き注視していきたい。

この後議題となるが、令和4年度から使用する東高校の教科用図書を採択する。これは平成26年から、学校が選定した教科用図書を教育委員会が採択することになったもの。

本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第13号 令和4年度から使用する高等学校教科用図書の採択について説明を求める。

○須藤課長

令和4年度から東高校で使用する教科用図書については、「高等学校用教科書目録」に記載されているものの中から、学校が内容を確認し選定したものである。なお、選定にあたっては、「内容の取扱いについて」、「単元の構成、配列及び分量について」、「その他」の3つの観点から適切なものを選んだ。

○中峰教育長

この場に選定された教科書を用意したので、ご覧いただきたい。教育委員会としてこれらの教科書を採択することでよろしいか。

(全員了承)

○中峰教育長

東高校は17日に学校祭を開催したが、コロナ禍のため一般公開せず、関係者のみに限定したため、今年は皆さんにご覧いただくことができなかった。内容についてご紹介すると、3年生は全員で「宝来太鼓」を、2年生は新しいプロジェクターを活用し「ホラムービー」を、1年生は「ハンドベル」など学年ごとに様々なステージを披露したほか、午後の部では個人やグループで趣向をこらした発表や展示を行うなど、生徒全員が何らかの形で一生懸命取り組んでいると感じた。

○中峰教育長

議案第14号 令和3年度土別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○須藤課長

朝日中学校フェンス移設工事について、当初は道が実施する工事と一体で行うとされていたフェンス移設を、道の施設ではないため市の補償工事として行うよう依頼があったことから、必要経費を補正するものである。なお、補正する金額については、全額が補償の対象となることから、本市の持ち出しは発生しない。

○三上部長

給食センターで使用している廃水処理設備のプロワー2台のうち1台が劣化し、部品交換が必要となったことから補正予算を要求するものである。

○中峰教育長

朝日中学校に関しては、補正案件ではないが仮設通路設置工事もあるので、内容を説明願う。

○須藤課長

仮設通路設置工事は、耐震性能のない朝日中学校の体育館を使用せず、隣接する糸魚小学校の体育館を使用するにあたり、生徒が雨天時や冬期間でも安全に移動できるよう仮設通路を設置するもの。中学校の2線校舎から通路を設置し、糸魚小北側の庇の下を通りグラウンド側の玄関から校内に入る。なお、中学校体育館にある備品等は、8月2日に小学校に移動する予定である。

○中峰教育長

通路については雪の心配があるが、仮設ということで、どの程度経費をかけるか。市立病院裏の階段に設置しているビニール製の屋根を想定した。給食センターのプロワーは、もう1台もどうかと思うが、部品は受注生産のため時間がかかる。いずれ同じ対応が必要になるかもしれない。

○五十嵐職務代理者

仮設通路の設置場所に雪庇ができる心配はないのか。

○須藤課長

糸魚小建設時に風洞実験を行っており、建物の東側に雪庇ができることが分かっている。また、これまでも、冬季間に庇の下に雪が積もっている状況は見られていない。

2 その他について

◇児童・生徒のワクチン接種について

○須藤課長

本市では12歳以上の方に対するワクチン接種の「接種券」が、夏休み中に送付される予定であるため、保護者あての文書を作成し配付するものである。内容としては、「ワクチン接種は任意」であり、保護者に判断していただくことや、「接種できない方、接種を望まない方」に対し、差別や偏見、いじめなどが起きることのないよう家庭でも指導をお願いするものである。

○五十嵐職務代理者

二重線で強調している部分もあるが、特に強調したい部分は目立つように工夫してはどうか。

○須藤課長

太字にするなど修正する。

○加藤委員

コロナウイルスについては、インフルエンザと比べると過剰に騒ぎ過ぎている印象がある。報道なども恐怖を煽り過ぎているように感じる。

○中峰教育長

インフルエンザは年数も経ち、特効薬が開発された。コロナウイルスはまだ未知の部分も多く、変異株に置き換わることにより、別なワクチンが必要となる状況もある。

○加藤委員

マスクを着用していれば、ある程度防げるのではないかと。特効薬についても承認が見えてきたとの報道もされている。

○中峰教育長

インターネット上で拡がっている情報には、様々なものがあり、なかには信じがたいものがある。先日道庁や札幌市役所に「ノーマスクの集団」が現れ、対応にあたった職員が感染した事例が報道された。このようなことで感染が広がるという事態は回避されるべきである。

◇士別市立学校教職員の時間外在校時間の公表について

○須藤課長

教職員の在校等時間については「士別市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」において、市教委が把握し公表するとしていることから、令和2年度の実績について、市のホームページにおいて公表する。

○馬場委員

学校行事が多い時期には、どうしても増えているものと思う。

○五十嵐職務代理者

逆に時間外をしていない職員もいるということか。

○中峰教育長

学校ごとの公表はしないが、学校によって個人に仕事が集中している場合や、その状況を分担するなどフォローできているかが数字に表れる場合もある。

○加藤委員

担当する学年によっても違いが出る。今回公表する資料では判断できないが、自ら好んで学校が好きで時間をかけて準備したいとの思いがある教員もいるのではないのか。一方で要領が良く終わらせる人もいるのではないのか。

○五十嵐職務代理者

仕事量にもよると思うが、やはり学期末は高くなっている。

○馬場委員

教材を準備するにしても、学校に残って作業するだけでなく、自宅に持ち帰っている人もいないのか。

○中峰教育長

部活動などで、学校以外の場所で活動することもある。学校の退勤時間を確認しているので、自宅で作業した時間は含まれていない場合がある。担任を持っているか、持ち上がりかなどによっても業務の負担は違うと聞いている。公表することの意図には、各校が自校の実態を振り返ってもらい、管理職によるマネジメントや、個人の意識改革に活かしてもらおうこともある。

○五十嵐職務代理者

全道の平均時間などは公表されているのか。

○中峰教育長

今回の公表はあくまで本市における状況であり、詳しく比較、分析するための資料ではない。

◇へき地小規模教育実習について

○須藤課長

本年は8月下旬から9月中旬にかけて、多寄小を除くへき地校で、北海道教育大旭川校の学生8人、札幌校の学生4人、合計12人が実習を行う。

○五十嵐職務代理者

どこに宿泊する予定か。

○中峰教育長

朝日・上士別の学校に行く学生は「和が舎」に宿泊している。他地域の学校に行く学生は、昨年まで

「スポーツ研修所」に宿泊していたが、廃止に伴い、本年はファームイン「農土家」に宿泊する。

○馬場委員

学生は自分の卒業した学校で実習するのか。

○中峰教育長

今回の実習は、そうではない。教育大では「へき地教育」を推進しているが、義務付けられている訳ではない。学生たちは学年も異なっており、へき地での体験を通じて、より教員としての指導方法などを実感するための一つの機会である。昨年からは、道教委でも「草の根教育実習」として始めたところ。多寄小学校で受け入れがないのは、昨年、温根別小で受け入れが中止となり、多寄小で受け入れを行ったため、今年はその逆に温根別小学校で受け入れることとなったもの。冒頭の挨拶の際にも述べたが、学生には事前にPCR検査キットを送付し、結果を確認のうえ来てもらう。

◇ドイツナショナルチームの合宿について

○坂本課長

すでに新聞やホームページで公表しているとおり、ドイツナショナルチームのマラソン、競歩の合宿を受け入れることとなった。コロナ禍のため直接的な交流はできないが、7月21日には給食センターがドイツにちなんだ学校給食メニューを提供し、各教室に選手の写真や紹介を掲示するほか、7月30日に開催する「チャレンジ寺子屋」では、オンラインにより児童と選手の交流を行う予定である。

○中峰教育長

関連する情報についても説明願う。

○坂本課長

自治環境課が管理している市ホームページでは、ドイツに限らず、士別市にゆかりのある選手の紹介や、競技日程などの情報を掲載している。また、感染症対策については、国の指針以上の対応に努めている。

○加藤委員

せっかくの機会なので、子どもたちと直接交流することが可能であればと思ってしまう。何かしら心に残るものを期待している。対策を講じた上で来てくれているとのこと、いよいよオリンピックの気分が高まればと思う。

○馬場委員

どこで練習するのか。

○坂本課長

グリーンスポーツ管理棟のほか、マラソンは南士別のランニングコース、競歩は北町の天塩川築堤で練習する。宿舎以外にはこの3か所しか出られない。

○中峰教育長

せっかく来てもらったが、本市のことを知ってもらえず残念である。閉じ込めてしまうようだが、仕方ない。ドイツナショナルチームの受入については、7月7日に開催した市議会代表者会議で説明し、さらに翌日には議員全員に説明を行い、翌9日に報道周知となった。ドイツチームからメッセージをいただいているので、どこかの機会に公表したい。

◇その他

○武山課長

士別市文化賞審議会委員の選任については、4月に開催した教育委員会会議で承認いただいたところ

だが、社会教育委員の中から選出される2名については、社会教育委員の会議を開催した後に報告することとなっていた。7月9日に会議を開催し、別紙資料のとおり委員を選出したため報告する。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○馬場委員

9月4日に開催予定の土別小学校運動会は観覧可能か。

○中峰教育長

中央地区の4校については観覧を制限しているはずだが、学校に確認する。

○加藤委員

保護者面談のため土別小の3階教室に行ったが、とても暑かった。網戸は先生がいる時だけしか開けていないようだ。

○中峰教育長

廊下側の網戸も含め整備している。また、学校保健特別対策事業費補助金を活用し、各校ごとに算定した金額を配分したが、学校によって考え方や物品の優先度に違いがあり、それぞれが希望する物品を整備している。

○加藤委員

教室に空気清浄機があったが、扇風機の方が良いのではと思った。

○須藤課長

みよし市からの小学生派遣が中止になったことはお伝えしたが、川内村の「コラッセ夏学校」も残念ながら中止となった。今後はオンラインで交流ができないかを模索したい。

○坂本課長

オリンピックについては、26日からウエイトリフティング競技が、30日から陸上競技がスタートする。ドイツの選手が出場する競歩、マラソンは8月6日から8日にかけて開催される。7月15日にはYKK陸上長距離部にご協力いただき、多寄小と温根別小の3・4年生を対象とした陸上教室を開催した。今後もホクレン女子陸上競技部やダイハツ陸上競技部のご協力の下、8月中旬から下旬にかけて陸上教室を開催する予定である。

○中峰教育長

YKKによる陸上教室では、参加した児童全員が選手に対し様々な質問をし、選手との交流を楽しみ、色々なことを学んでいた。残念ながらオリンピックデーランも中止になってしまったが、元バレーボール日本代表の成田郁久美さんを講師に迎え、オリンピック教室を土別中学校で開催する予定である。

午後5時30分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中 峰 寿 彰

会議録調整者

須 藤 友 章